

爽風

神戸市シルバーカレッジ情報誌
2022年9月 第212号



萩



薄



桔梗



撫子



葛



藤袴



女郎花

「爽籟」 絵画ボランティアグループ 美工 27 期 宮本 正弘

目次

2~5	第 27 回学園祭に向けて
6~7	校外学習報告
8	教室だより
9	先生インタビュー
10~11	サークルだより
12	グループわ だより、ジョイフルクッキング
13	文芸サロン
14	トピックス
15	掲示板、事務局だより、図書室だより、編集後記
16	Photo News (校外学習、七夕飾り、第 27 回学園祭に向けて)

情報誌編集委員会では、カレッジ内外の活動も含めて写真・記事の投稿をお待ちしています。

「爽風」への情報提供・ご意見は、次のホームページからお寄せください。

<https://ksc-sofu.net/> スマホからは右の QR コードを読み取ってアクセスできます。



編集・発行 神戸市シルバーカレッジ 情報誌編集委員会

特集 第 27 回 学園祭に向けて 飛べ！ 翔け！ シルバーLIFE

第 27 回学園祭が 10 月 8 日(土)に開催されます。本年はコロナ感染対策 3 大原則を設定し、各委員会はこれに沿って学園祭準備の協議を進めています。昨年度同様に厳しい状況下での開催となりそうですが、28 期生を中心に学生一同一体となって準備を進めています。

学園祭開催を前に、総合委員長および各委員会の委員長からあいさつと開催に向けての言葉をいただきました。

【学園祭総合委員長】

健康 28 期 中村 洋一
健康 28 期 古田 説子

10月8日開催の2022年度 神戸市シルバーカレッジ 第27回学園祭 キャッチフレーズは、『飛べ！ 翔け！ シルバーLIFE』に決定しました!!



「マスク着用、昼食以外の飲食の禁止、学生限定の学園祭」の原則を守り、粛々と楽しみましょう。

参加団体 51 組が、日頃の成果を発表します。そして支援者を含むカレッジ生全員参加で、学園祭を作り上げましょう。

さて開催の趣旨は、「全学生が自主的に知恵を出し合い、創意工夫を凝らし、さまざまな催し物を企画運営する。日頃の学園生活における学習の成果・クラブ活動、ボランティア活動などの内容紹介発表を行い、ともにふれあい交流を深める」です。



具体的運営組織は、総務・駐車場・バザー・ステージ・展示・出店の6委員会からなり、毎年クラスより選出の委員・支援者で運営してきましたが、今年度のステージ・展示・出店委員会は、出演参加団体による委員・支援者中心に専門性の高い委員会となっております。よって、3年生の皆さまに中心ポストでご協力いただいている委員会もあります。各委員会では、「ボトムアップ」方式により意見を出し合い、準備をすすめておりますのでご期待ください。

最後に「グループわ」よりバザー商品提供のご協力を、いただいております。感謝申し上げます。開催まで残り 1 か月、成功に向けての英知を結集しております。皆さまが、笑顔で「楽しかった」と言ってもらえるよう進めてまいります。引き続きご支援ご協力をお願いします。

◇総務委員会

生環 28 期 森下 利広

新型コロナウイルス蔓延を受け、一昨年は中止を余儀なくされ、昨年はコロナ対策を手探りで模索、厳しい制限下で学園祭が開催されました。今年度については、当初から総合委員長・事務局と連携し、“コロナウィルスと共存”しながらも、「いかに現状に見合った楽しい学園祭が開催できるか」を基本的な考え方として骨格形成を検討してきました。

そのために、今の環境下（WITH コロナ体制）で開催する学園祭として、「何ができて何をしてはいけないか」の検討が不可欠と考え、先輩方が残された第 25 回、第 26 回の記録をもとに、カレッジ事務局とも協議させていただき、「大原則」を設定し、我々が「やってはいけない“禁止事項”9 項目」をリスト化いたしました。

大原則はコロナ対策の基本的な取り組み、

- カレッジ敷地内は、必ずマスクを着用（施設内外）
- カレッジ敷地内での飲食は禁止(除く昼食)
- 学生だけの学園祭に限定し、外部の招待はしない（リハーサルも同様の扱い）

これらの禁止事項を基本として、各委員会で運用ルールを検討いただき、知恵を出しあい、第 27 回学園祭の成功に向けて準備を進めていただいています。

皆さまには、現状のコロナ規制をベースとした“禁止事項”を遵守いただくことにはなりますが、『飛べ！ 翔け！ シルバーLIFE』のキャッチフレーズのもとで、昨年より開かれ、緩和された制限下での学園祭をお楽しみいただければと考えています。ご協力・ご支援よろしくお願いいたします。



◇駐車場委員会

美工 28 期 山田 義明

第 27 回学園祭は昨年度に引き続き学生のみの一泊開催となり、参加団体の皆さまは学園祭に向け準備、練習に取り組んでおられることと思います。

学園祭駐車場委員会は、駐車場委員 4 人、支援者 38 人でシルバーカレッジ内の駐車場及び臨時駐車場の安全管理業務を行うことになりました。

昨年度は午前、午後に入れ替え制でしたが、今年度は入れ替え無しの一括開催となりました。そのため駐車場が混雑し駐車しにくい状況となることが予想されます。カレッジ内の駐車場及び臨時駐車場が満車になれば、しあわせの村、村内の一般駐車場の利用をお願いすることになります。カレッジなどの駐車スペースも限りがありますので、できる限り公共交通機関の利用や送り迎えなどの方法でお越しいただければと思います。

4 月以降駐車場委員を中心にさまざまな準備を行っていますが、委員、支援者協力して「安全第一」をモットーにトラブルなく業務を遂行したいと考えています。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



見するかも知れませんがぜひとも会場にお越しください。それでは、会場でお待ちしております。



◇ステージ委員会

食文 28 期 中山 尚憲

今年度の学園祭のステージ委員会は新たな体制がとられました。学園祭のステージで演奏や演技をすることを申し出た 24 団体・クラブから選出された 24 人の委員とクラスから選任された 5 人の委員の計 29 人で委員会が組織されました。その利点は会議などでの結果が委員を通じて各団体に直接伝わることです。その効果として、委員会前半の大仕事である 7 月 12 日の 24 団体への出演計画書提出の説明会が大雨警報で中止になった際に、緊急連絡網を通じて中止の連絡が団体に短時間で伝えられ混乱を回避できました。代替の説明会の日程や場所がとれないため、同日にメール会議の形をとりましたが、出演計画書として提出する資料の様式や記入方法、提出日（7/25・26）の場所と時間の情報をしっかりと伝えることができました。その上で、実施した 8 月 2 日のヒアリングでは、提出された出演計画書に対して、委員会を構成する司会、舞台、音響・照明、会場、演目（インターネットクラブと共同）のグループから、準備すべき詳細事項の確認ができました。

8 月 18 日にステージの出演の順番を決めましたので、今後、機材や支援者を含めた配置計画を固め、9 月 22 日のリハーサルを委員会としての成果の場として迎える予定です。

10 月 8 日の学園祭は、1 団体 13 分の厳しい時間管理の中、決めた手順や方法で裏方としてしっかり支え、出演団体の素晴らしいパフォーマンスで聴衆の皆さまが楽しんでいただけるように頑張ります。ご支援とご協力をお願いします。



◇バザー委員会

国際 28 期 関下 和良

バザー委員会は、バザー委員 7 人と支援者 53 人の 60 人で物品受取に 10 日間、オークションに 7 日間、オークション品の引き渡しに 4 日間、そして前日のセッティングと当日のシフトを決めてもらい業務を行います。

学園祭のバザーの収益金は学園祭の運用費用や、しあわせの村の福祉施設への寄付金に充当されます。そのことによって地域社会づくりにも貢献しています。このコロナ禍ではありますが前年度よりも物品が、たくさん集まるように在校生はもちろんのこと、グループや、卒業生の皆さまにも声をかけて物品提供をお願いしております。

今年も残念ながら在校生だけの学園祭になります。販売は学園祭前のオークション販売と学園祭当日の店頭販売の 2 通りで行います。

在校生だけでもオークション販売時には密にならないように感染対策を徹底し、そして当日には整理券を配り人数制限を設けて業務を行います。

オークション販売時やバザー会場では、思わぬ欲しい物を発

◇ 展示委員会

生環27期 吉田 謙

当委員会はふれあいホール内の展示設営と各種備品の貸し出しを主に担っています。新型コロナもまだ収束はしていませんが、今年のはかつての学園祭に近い規模で開催されます。この3年間のブランク等があり、当初はかなり戸惑いましたがメンバーの協力で遅ればせながら軌道に乗っているかと思えます。

ふれあいホールではパネル 54 枚（108 面）に及ぶ作品展示で埋め尽くされます。特に「美工 3 学年」全員の絵画と陶芸作品はホールを華やかに彩ってくれるでしょう。またほかに「写真クラブ」「書道部」「川柳くらぶ」「俳句クラブ」「絵手紙同好会」が自慢の作品を、「野鳥の会」「ぴかぴか隊」「フランス語同好会」の活動紹介パネルも展示されます。

2 階では「映画サークル」が神戸震災の場面登場の『男はつらいよ 寅次郎紅の花』を上映します。学園祭当日には展示委員のメンバーは、黄色い腕章をしています。何かあればお声掛けください。大いに学園祭を楽しんでください。



◇ 出店委員会

生環28期 根津 信子

今年は準備の組織体制が見直され、従来の「屋外テント委員会」と「食品管理委員会」の役割がひとまとめになり、「出店委員会」としてスタートしました。

委員会は、学園祭委員 5 人と屋外出店委員 4 人、屋内出店委員 10 人で構成され、各出店グループから 32 人の支援者に協力いただいています。全体会議のほか、食品関連、屋外テント関連など小委員会方式の会議を重ねて、きめ細かな相互連絡に努め、コロナ後の学園祭も視野に入れて活動しています。

屋内出店の 1 階ふれあいホールは、作品展示と共用となり、必要備品の調整も欠かせないため、展示委員会とは密接に連絡を取り合っています。

屋内出店は、さまざまなお菓子類の販売のほか、ケナフ、ダーツ、パソコン、美術・陶芸と多彩で、屋外出店は、野菜、花の苗、苗木、木工製品など、これまた多彩です。今年も学生だけの学園祭になりますが、「みんなで取り組み、みんなが楽しく、安全で事故のない学園祭！」をモットーに、本番の 10 月まで、これからもみなさまのご協力をよろしくお願いします。



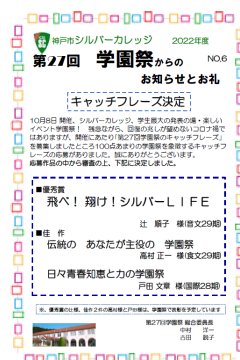
第27回学園祭キャッチフレーズ優秀賞を受賞して

優秀賞 「飛べ！翔け！シルバー-LIFE」 (音文 29 期 辻 順子)
 佳作 「伝統の あなたが主役の 学園祭」 (食文 29 期 高村 正一)
 佳作 「日々青春知恵と力の学園祭」 (国際 28 期 戸田 文章)

6 月 21 日に開催された第 3 回学園祭委員長会議で、100 点を超える応募の中から上記の優秀賞 1 点、佳作 2 点が選ばれました。優秀賞を受賞された辻さんより喜びの言葉をいただきましたのでご紹介いたします。

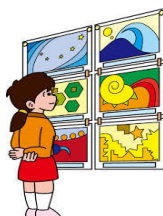
音文 29 期 辻 順子

初めての KSC 学園祭、その高揚とともに入学動機でもある「新たな挑戦」が私をキャッチフレーズ公募に導きました。私が入学以来強く感じる KSC の皆さんのエネルギーは、高齢者人生やコロナへの不安を払拭するものです。だから「まだまだ活躍できる」そんな若々しい学園祭であってほしい、その思いを標語に表現しました。受賞を受け私はともに喜んでくださった学友と一緒に学園祭も学生生活も「飛んで！翔いて！、楽しみたいと思います。



第 27 回 学園祭 ステージ出演団体

出演日	出 演 順	出 演 団 体
10 ・ 8 (土) 午前	1	KSC 人形劇「ゆめ」
	2	KSC フルーツクラブ・フルーツパフェ
	3	KSC マジック同好会
	4	KSC 謡曲クラブ 銀謡会
		休憩（換気）
	5	ザ・カスターネット
	6	混声合唱団コーロ KSC
	7	あかりの会
	8	KSC 男声合唱団
		休憩（換気）
	9	KSC 軽音楽クラブ
	10	KSC ハーモニカグループ
10 ・ 8 (土) 午後		昴 28（音文 28 期）
	11	アンダンテ 29（音文 29 期）
		エール 27（音文 27 期）
	12	アンサンブル KSC
		休憩（昼休み）
	13	KSC フォークソング・クラブ
	14	KSC オカリナチーム
	15	KSC オールディーズクラブ
	16	KSC フォークダンスグループ
		休憩（換気）
	17	KSC アロハハワイアンズ
	18	KSC 社交ダンスクラブ
午後	19	ミュージ研
	20	KSC 民謡同好会
		休憩（換気）
	21	KSC 三曲会
	22	手話ソング
	23	KSC 太極拳クラブ
	24	楽遊グループ（銭太鼓）



第 27 回学園祭展示・出店・出品団体

参 加 方 法	団 体 名（展示・出店内容）	開催場所
展 示	美工 27 期（絵画・陶芸）	1 階ホール
	美工 28 期（絵画・陶芸）	
	美工 29 期（絵画・陶芸）	
	KSC 写真クラブ	
	KSC 書道部	
	俳句クラブ	
	川柳くらぶ	
	KSC 野鳥と自然観察会	
	絵手紙同好会	
	KSC フランス語同好会	
	KSC イベントぴかぴか隊	
	絵画ボランティアグループ（絵画）	学習室 1・2
	陶芸ボランティアグループ（陶芸）	
	KSC 映画サークル（映画上映）	学習室 3・4
出 店	シルバーケーキの会（ココアケーキ）	1 階ホール
	ボランティア・クッキーの会（クッキー）	
	食文 27 期（クッキー）	
	食文 28 期（フルーツケーキ）	
	食文 29 期（サターアンドギー）	
	ケナフの会（染物、紙漉）	
	KSC ダーツクラブ（ダーツ教室）	学習室 1・2
	絵画ボランティアグループ（絵画）	
	陶芸ボランティアグループ（陶芸）	
	パソコンクラブ（カレンダー、うちわ）	学習室 7
	園芸（27・28・29 期）（花苗、芋）	中庭
	ボランティア木工グループ（木工製品）	
	「ガーデニング」グループ（花・野菜苗など）	
	有機野菜をつくる会（野菜、肥料）	学習室 5・6
	学園祭バザー委員会	



国際交流・協力コース 28 期校外学習 神戸学「日本開国・神戸開港物語」

5月6日の授業、神戸学①「日本開国・神戸開港物語～神戸の都市魅力の原点・神戸開港」に引き続き、5月11日に楠本先生のご案内で神戸学①で学んだ実際の場所を訪ねました。東遊園地をスタートし、旧居留地内を巡り、メリケンパークへと足をすすめ、神戸港めぐりの船で一休みの後、「明治天皇御用邸跡」記念碑で解散となりました。その後、クラスの大半は居酒屋へと向かい親睦を深めました。今回の校外学習で訪れた先は、買い物などで見慣れたエリアでしたが、こんな所にこんな物がという驚きにあふれた街歩きを体験できました。楠本先生ありがとうございました。

【東遊園地】

50年以上ぶりの遠足気分
の校外学習でしたが、あいにくの雨と東遊園地は工事中で、少し先が思いやられました。ほどなく、その雨も、傘もいらない程度になってきました。



安藤忠雄設計の「子供の本の森神戸」の前にある花時計で、生田川付け替えとその跡地の市街化整備で加納町に名を残す加納宗七像や神戸レガッタ&アスレチック(外国人スポーツクラブ)などの周辺名所のお話をいただきました。

【外国人居留地】

旧外国人居留地は、東は旧生田川（現在のフラワーロード）、西は鯉川筋、北は旧西国街道、南は海岸線に挟まれた、東西 500m、南北 500m ほどのエリアです。真珠会館をかわきりに、運上所跡（神戸開港式、明治政府初外交）、居留地 15 番館、宮城道雄生誕記念碑（58 番館）、生田馬場道跡・東関門跡、三宮神社（神戸事件記念碑）、居留地行事局跡（38 番館）を経て鯉川筋を南下、中華街、米領事館跡を遠望し、臨港鉄道線路敷跡（海岸通）、海軍営之碑（レプリカ）、メリケン地蔵を見学の後、メリケンパークへと向かいました。

居留地 15 番館

15 番館は、居留地時代の唯一現存する建物ですが、阪神・淡路大震災で倒壊しました。倒壊後に、その部材の 70% を使用して耐震構造で復元されました。当時の街区境界のれんが塀や石柱などとともに保存され、国の重要文化財に指定されています。



旧下水道管

15 番館のすぐ横には外国人居留地の頃に使われていたれんが製の下水管が保存展示されています。明治の初期の西洋諸国の生活レベルの高さと、そのものが神戸に存在したことは驚かされました。



生田馬場道

現在のトアロードにある生田神社鳥居から海岸まで馬場道がありましたが、居留地建設で馬場道は消滅しました。「ババじゃババじゃと云わん



すけれど生田のババに花が咲く」「梅は岡本、桜は生田、松の良いのが湊川」とうたわれたように桜の名所だったとのこと。残念ながら、現在は面影も残っておりません。

三宮神社（神戸事件記念碑）

大丸の北東筋向いにあるこぢんまりした神社です。慶応 4 年 1 月 11 日に、備前藩の隊列を横切ろうとした(供割)フランス人水兵を負傷させ、銃撃事件に発展した神戸事件が、この神社の前で突発しました。明治新政府政権となって初めての外交事件となりましたが、西欧諸国列強に押し切られ、備前藩第 3 砲兵隊長・滝善三郎正信の切腹という、日本にとっては不本意な形で決着しました。

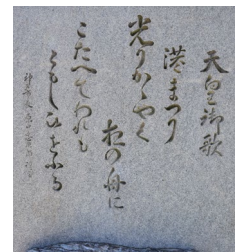


【メリケンパーク】

メリケンパークでは、昭和天皇歌碑、震災メモリアルパーク、神戸港移民船乗船記念碑を見学しました。

神戸港移民船乗船記念碑

阪神淡路大震災で神戸の建物が軒並み倒壊する中、国立神戸移民収容所(1928 年築)が無傷で残ったことをニュースで知ったブラジル日系人からの義援金が贈られてきました。このことに感銘を受け、先生をはじめとする方々が中心となり市民運動「海外移住者顕彰事業」が立ち上げられ、移民収容所保存活用（現在の移住ミュージアム）と合わせてこの記念碑が建立されました。この碑の海外移住者像からは移住者の希望が感じられました。今回は移住ミュージアムには行けませんでした。移住に関して学べる数少ない施設です。



【ハーバーランド、史跡「明治天皇御用邸跡」記念碑】

ハーバーランドは政府の民間活力導入方針に沿い、神戸市が旧国鉄貨物駅、三菱倉庫高浜ターミナルなど約 23ha を購入し、再開発した市街地です。

その、ハーバーランドumieの立体駐車場がある交差点角に「明治天皇御用邸跡」記念碑があります。明治 19 年宮内省が、専崎弥五平邸を買い上げて神戸御用邸が開設されました。明治 24 年には、大津事件後のロシア帝国との皇室外交舞台となりました。



(国際28期 岸本 修治)

生活環境コース28期校外学習「神戸市建設局東水環境センター」

生活環境コースでは、年3回程度校外学習が実施されています。昨年は三田市の「人と自然の博物館」、加西市の「フラワーセンター」、加東市の「パナソニックエコテクノロジーセンター」、西区の「こうべ環境未来館」へ行き、今年は北区の「森林植物園」、「弓削牧場」へ行き、自然共生社会や資源循環社会をテーマに校外学習を行ってきました。

今回（7月14日）は、東灘区の「神戸市建設局東水環境センター」へ行きました。神戸市建設局東水環境センター管理課の楠田さんと酒井さんより説明を受けましたので、施設の紹介をさせていただきます。

施設のテーマ：「災害に強いまちづくり」「低炭素・循環型のまちづくり」を目指して

下水道の役割

下水道の役割は、主に4つあります。

- ①汚水を処理し、生活環境をよくすること
- ②川や海の水環境を守ること
- ③浸水から街を守ること
- ④下水道資源（処理水や汚泥）を有効活用すること



下水道のしくみ

雨水は、側溝から雨水管を通り海へ流れ、生活排水は、公共桝から污水管を通り処理場へ流れます。

処理場では、沈砂池→最初沈殿池→生物反応槽→最終沈殿池→消毒設備を順次通り処理水は海へ流れます（マイクロプラスチックの除去はしていません）。汚泥は汚泥処理施設で発酵させ、消化ガスと汚泥に分けます。消化ガスはバイオガスとし燃料となり、汚泥はリンを回収し肥料にされた後、東スラッジセンターで焼却し舗装材や埋め立て材になります。（下図参照）

東水環境センター（東灘処理場）の概要

- ①所在地 神戸市東灘区 魚崎南町2-1-23
- ②敷地面積 132,408㎡（甲子園球場3倍）
- ③処理区域 中央区(生田川より東)、灘区、東灘区
(施設負担人口約40万人)
- ④処理能力 229,500㎡/日（平成30年3月末）
- ⑤排除方式 分流式（一部合流式）
- ⑥処理方式 標準活性汚泥法
- ⑦再生可能エネルギー生産量
汚水量約170,000㎡/日に対してバイオガス6,000㎡/日、再生リン360kg/日の生産をしています。

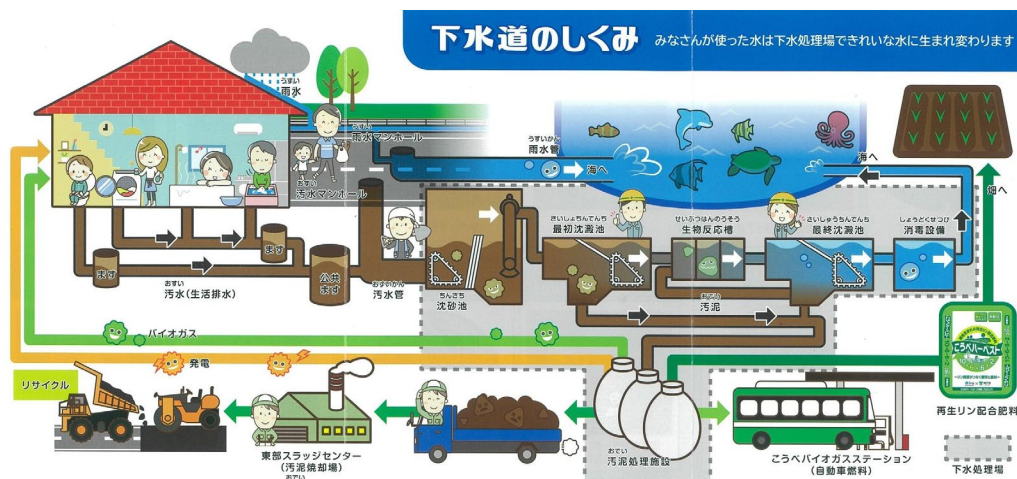


東水環境センター（東灘処理場）の特色

東水環境センターは、神戸市内6か所ある処理場で最大の下水処理能力があります。また神戸市の下水は分流式ですが、ここでは合流式下水道区域が一部有ります。

阪神淡路大震災で壊滅的被害を受けましたが、施設を稼働しながら4年掛けて復興させました。また、4つの処理場（東灘・鈴蘭台・西部・垂水）を大深度口径の汚水幹線で連絡させ災害時にも止まらない下水ネットワークシステムを完成させました。

「2000年より東クリーンセンターのごみ発電を利用し電力融通」、「2008年バイオガス精製設備を運転し「こうべバイオガスステーション」をオープン」、「2012年外部バイオマスを受け入れ消化ガス増量運転を開始し、汚泥からリンを回収し肥料化して、JAひょうご六甲と「こうべハーベスト」を製品化」と資源循環型まちづくりに貢献しています。



バイオガスステーション



消化タンク

(生環28期 佐野 幸男)

NPO法人+arts(プラス・アーツ)理事長の講義を受けて

食文28期 加藤 公章

講義での「神戸地産の食材など神戸らしいテーマで地域の子供たちとKIITOと一緒に料理作りができるメニューを考えてほしい」との提案を受け、初めて自分たちでレシピ作りから食材の調達、調理に至るまでのすべてを体験することになりました。(KIITOは「デザイン・クリエイティブ・センター神戸」の愛称)

食文28期は8班で構成されています。各班の作品の中からKIITOのスタッフが代表作を選び、選ばれた作品が後日KIITOの施設で子供たちを交えて料理される運びとなります。

各班の作品は、1班「サバイバルカレー」、2班「ミニオンのデコ巻き寿司」、3班「はてなのお好み焼き」、4班「父の日に会社に持っていくバランスのとれた弁当」、5班「神戸の地産名物を知り、むだなく、おいしく、子供たちとわいわいクッキング」、6班「カフェ絵写このみヤーキ」、7班「カンKanカフェ」、8班「色んなもの巻きました」の8作品です。

結果は、5班の作品が高評価を得て、見事代表作に選ばれました。クラス全体がテーマに沿って知恵を出し、協力する



5班「神戸の地産名物を知り、むだなく、おいしく、子供たちとわいわいクッキング」の作品
メンバー：班長 平松、尾崎、黒木、宮原

ることによりチーム内の団結力やパワーが倍増し、私たちにとって素晴らしい作品が完成するとともに、思い出に残る良い経験を得ることができました。

食文化専攻コースに入学して

食文29期 上坂 津多恵

シルバーカレッジに入学して3か月が過ぎました。

初めての授業は、栄養バランスのとれた食事と題し座学での講義です。2回目の授業は待ちに待った調理実習！献立は肉じゃが、キャベツとかにかまの酢の物、豆腐の味噌汁などですが、家庭料理の定番である肉じゃがが、まるで初めての料理のような緊張感でした。

一番だしの取り方、野菜の切り方の模索、調味料の計量、鍋の選択などを班全員で相談しながら、できあがった料理は薄味のとてもやさしい味でした。



実習を重ねていくうちに、学園祭準備の話があがってきました。学園祭のクラス代表会議報告を聞き、コロナ禍の影響による制約の中での運営の大変さや、29期の食文としての出店品目の決定が急務であり、クラス全員の協力体制が必要だということも分かってきました。

7月に入り、学園祭にむけてクラス内で役割分担を明確にして、準備、手配、模擬実習を計画的に実行し、実りある催しにしていきたいと思っています。

音文専攻28期（輝けハーモニー）

音文28期 藤原 裕子

音文28期、音楽を楽しみたい気持ちの仲間が集まりました。クラスで合唱をしますが、音楽に精通している人もいれば人前で歌ったことのない人もいます。そんなメンバーで取り組みました。日がたつにつれ気心も知れ、元気で明るいクラスになってきたようです。



合唱の授業では厳しい教えも受けますが、幅広い音楽文化の授業を楽しんでいます。邦楽の授業では、実際に箏(こと)を奏でました。初めて触れる人も多く、周りでは次の音を唱えて応援（箏の音より大きな声？）するなど、とても楽しい授業でした。2年生になり、まとめ役として皆さんが秘めた力を発揮できるようお手伝いし、しんどいながらも達成感を得て素敵な力を持つクラスになってきています。愛称である「昂(すばる)28」これからも輝きを増して、音楽を心から楽しみたいと思います。

クラス全員で楽しみながら、アンダンテで歩む

音文29期 中津 洋子

あとから聞いたところによると、今年の音文の競争率は2.5倍だったとか。幸運にも入学できた人は「音楽が好き！」という共通項を持っている29期生34人(男性12人・女性22人)です。



音楽経験も、また年齢もそれぞれですが、3か月もたない間に代表や班長さんを中心に素晴らしいチームワークができ上がっているのには驚くばかりです。それぞれに前向きで明るく個性豊かな人たちが集まっているおかげか、カレッジの学習課程編成のなせる業なのか、現在すでにクラスの仲間として支え合いながら、次の学園祭に向けて練習に励んでいる私たちがいます。音文1年生の学習内容はさまざまですが、中でも「歌唱実技・合唱」に多くの時間が費やされます。私たちは、まだまだ未熟ですが「たくさんの声が重なることで生まれる音色の美しさ」、「順風満帆ばかりではなかった日々を紡いできたシルバー世代だからこそ生まれるハーモニー」を感じながら合唱に精を出しています。これから3年間、皆で心を合わせて34人がどのようなハーモニーを奏でていくのかを楽しみに、学習を重ねていきたいと思っています。クラスの名前「アンダンテ29」の名前のとおり、歩く速さでゆっくりと歩んでまいります。





生活環境コース 松岡 広路先生

1960年広島県に生まれる。
神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授 人間発達専攻
神戸大学 ESD コース専門委員会委員長
ESD プラットフォーム WILL 運営委員

シルバーカレッジとの関わりはいつごろからですか？

1996 年ごろ、神戸大学赴任時直後から神戸大学の先生からの紹介からです。その当時、3 年生の卒業研究の指導で、卒業研究テーマの高度さに驚き、このシルバーカレッジは「単に高齢者の生きがいをつくる場だけでなく、高齢者の再社会参加の準備期間の場で、色々な事を自分たちが計画して、自分たちが発信している」素晴らしい場所だと感じました。

趣味はなにですか？

一人での山歩きです。誰もいない山中で雪や枯れ葉を踏みしめる音、柔らかな葉音や風の音を聞きながら、色々なものを整理します。白山へは行きましたが、これからも人に会わなくても済む、深山を目指したいと思います。

ESD*1が現在、社会にどの程度浸透しているとお考えですか？

公教育(小・中・高・大学)では、ESD はかなり定着し始めています。学習指導要領にも明記され、SDGs*2 教育は中心的な言葉になってきています。

「強い人達が新しい社会を創ったり、当事者性*3 が高い人だけがその問題を変えていく」のではなく、「社会の中で力を発揮でき

ないと思っている人が、学校教育とは違う形でエネルギーをもって欲しい」と思います。課題の解決には解決能力・探求力が必要です。この能力は人によってグラデーションがありますが、それぞれの役割が見えないようでは危ない社会運動です。SDGs 運動の中で「一人一人が今どんな生き方をするか」を考え、それを重ね合わせ社会が変わっていくプロセスが大事です。それを生み出すのが ESD です。ESD は学校だけでなく、いろんな場面で浮かび上がってくるものでなければいけない、その意味ではまだまだだと思います。

シルバーカレッジの学生に向けてメッセージをお願いします

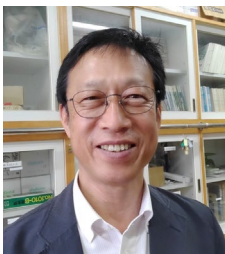
シルバーカレッジが対話を生み出す場、一人一人の当事者性の交差を生み出す場になるといいです。私も皆さんの仲間に加えていただけるといいです。

*1 ESD : Education for Sustainable Development 持続可能な開発のための教育

*2 SDGs : Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標(17 の目標が定められている)

*3 当事者性 : 問題・テーマと自分との距離感(身体的・心理的、関係者とのつながり、知識・技術面、活動への関与程度、希望の程度などにおけるもの)

(生環 28 期 佐野、関 29 期 増本、垂井)



園芸専攻 大野 晶則先生

園芸アドバイザーとして2022年度よりシルバーカレッジ園芸専攻の講師に^{かき}着任、花卉分野を指導
近畿大学農学部を卒業後、株式会社ハイポネックスジャパン入社、芝生部門(ゴルフ場や競技場)の後、
花卉生産者、農業改良普及センターなどで、施肥の技術指導や共同試験を担当
株式会社ハイポネックスジャパン2022年1月退職

この春どのような経緯でご着任いただいたのでしょうか？

園芸専攻前任の吉田先生のご推薦をいただき、この度講師として着任することとなりました。

お花の専門家になられた経緯を教えてください

高校、大学の中から農業関係の仕事に就きたいと思っていました。会社入社時はゴルフ場開発が盛んな頃でもあり、新部門のプロ用芝生肥料の営業部署に配属されました。各地のゴルフ場、競技場、野球場を担当し、ゴルフ場のベントグリーンや競技場の芝の施肥アドバイスを行ってきました。

その後花卉生産者の部署に替わり、生産者さんへの施肥アドバイスやシビアな交渉事などを通じて、信頼と人間関係を築けたことは今でも誇りに思っていることです。

自由時間の使い方、ご趣味などについて教えてください

旅行やスキューバダイビングを趣味にしています。旅先での出会いや自然を感じる事が好きです。

仕事で花の担当になってから自宅でガーデニングを始め、今ではさまざまな種類を栽培していますが、特に好きな花はバラとペチュニアです。

ガーデニングを通じて近隣の方々とも仲良くなり、旅行で留守の時は庭の水やりをお引き受けいただいています。通りがかりの方からも「お花が綺麗で散歩コースに入っていますよ」と声を掛けられたりして、花を通じてお付き合いの輪の広がりを感じています。

シルバーカレッジの学生にアドバイスをお願いします

学生の皆さんには、さらに花を好きになってほしいと思っていて、講義のレベルを少し高くしています。

なぜなら知識があれば応用が利き、卒業してからもそれを活かし、園芸を通じて人の輪を広げてもらえたらと思っているからです。

学生の皆さんには創意工夫でチャレンジいただいて、栽培の失敗も次の成長につながるように結びつけてほしいと思っています。

(園芸 28 期 前川、本橋 29 期 貴志、浜)

放談クラブ

「カレッジのしゃべり場」を目指す

国際29期 松本 千種

放談クラブを知っていますか？ 2003年設立でクラブの中では、古い方ではないかと思いますが、今はクラブの中ではカレッジきつての極小クラブです。しかしながら会員はフレッシュな29期生ばかりの集まりです。

放談クラブでは、自分たちでテーマ（時事問題 身近な出来事 学園生活 スポーツ 音楽 芸術など）を選択し、楽しくディスカッションしていきながら知的好奇心を刺激しあえるのでうれしいです。それに付け加えていうならば、テーマはいろいろな方向に羽を広げて飛んで行き、思いのままに遠慮なく話し、議論することができ、終わりにには元のテーマに戻ったりと自由です。



会のもう一つの目的は、対面で（今はコロナ禍でマスク、間隔をあける）話し合うことにより、会員相互の親睦も図れることです。

第1回目の例会は時事問題を掲げている中で、ロシアのウクライナ侵攻は避けて通れないと考えてウクライナを取り上げました。大変重く、答えの見いだせない難しいテーマでした。2回目も取り上げましたが……。29期生として入学したての例会でしたが、OBの指導で有意義な例会であったと思っています。その日「グループわ」の入口にウクライナへの寄付を募る募金箱が目に入り、寄付させていただきました。

私達の会は学園祭に出演したり、展示したりすることはありません、地味な会ですが中身は濃いと自負しています。放談クラブに少しでも興味を持てただけなら、メール、お声かけしていただければうれしいです。直接、例会の見学にもお立ち寄りください。



K S Cフリーソフト倶楽部

「楽しもう！いい友！パソコンライフ！」

健康28期 小藪 孝明

私たちは毎週水曜日14時45分から学習室7で例会を行っています。例会内容は安全で役立つフリーソフトをインストールして、その操作方法を学び、自分のパソコンライフに役立てていこうという内容です。講師はクラブのOB7人に依頼して、テーマにより得意な講師に交代で講義していただいています。セキュリティ対策・Google・YouTube・Jtrim・zoomなどなど盛りだくさんの内容です。また3年生の時のグループ学習に役立てようと、word・Excel・パワーポイントの講義も充実させて年間を通して計画・実施しています。



8月は1日例会を3回予定しており、この号がで上がる9月には私たちのパソコンスキルも大いに上がるのでは？と期待しております。

今年度は新入生も多数入会していただき、7月には楽しく和気あいあいとしたクラブ活動にしようと、しあわせの村デイキャンプ場でバーベキューの歓迎会(下の3枚の写真)を実施しました。

今後も「楽しもう！いい友！パソコンライフ！」をモットーに充実したクラブ活動を行ってまいります。



KSC フォークダンスグループ

「笑って 楽しく 華やかに！」

生環 28 期 小田 定子

フォークダンスとは世界各地で踊られる土着の踊りの総称です。広義には盆踊りや神楽のような日本の踊りも含まれますが、一般的に日本では、外国(欧米)から紹介された踊りを指すことが多いそうです。

フォークダンスグループは、月に4回、金曜日の午前中に、しあわせの村内の『たんぼの家』の多目的ホールで、フォークダンス協会の先生の指導の下で、シルバーカレッジOBの方も含めると約30人の会員で楽しく踊っています。

一度は学生時代に踊った経験はあるかもしれませんが、激しい動きもなくて、いくつになってもできて良い運動になりますよ。曲のリズム、足のステップなど、色々覚えることも、脳の活性化につながり、可愛い衣装で踊ることも新鮮で新たな喜びを発見できると思います。

一度、練習しているところをのぞいて見てください。私たち、『笑って 楽しく 華やかに！』一緒に踊りませんか？

いつでも新人部員募集中です。



陶芸ボランティアグループ

「陶芸は土との戯れ」

美工 28 期 森岡 章治

陶芸ボランティアグループでは、学年毎に月3回の例会で粘土成形や焼成(素焼き・本焼き)、釉薬^{うわぐすり}掛けは3学年合同の作陶を和気あいあいと行っております。初めて粘土に触った人も、釉薬掛け・窯出し、焼き上がりを見てはため息したり、歓喜したりで試行錯誤の作陶を楽しんでいます。完成作品は(村内)ボランティア活動報告会や(村外)市民ギャラリー展に作品を発表しています。

美術室(作陶室)、窯場、乾燥室、釉薬室などのシルバーカレッジ唯一の設備を揃えたサークルで、愛情豊かで親切な先輩指導員の指導のもと芸術を堪能できます。コロナが終結の折には、ボランティア活動も充実して、村内外4施設の訪問を再開していきます。

陶芸は伝統を維持継承しながら、暮らしを彩る器や花器や装飾品を土という素材を使い手作りで戯れながら、楽しい幸せな形にして行きます。用いて重宝、贈って感謝の器作りを一緒に楽しみましょう。いつでもご入会お待ちしております。



例会



ボランティア活動報告会



夏のギャラリー展

グループわ だより

KSC29 期共通授業でグループわ の紹介

7月6日、カレッジホールにてグループわ を3部構成で紹介させていただきました。第1部で「グループわ」の概要を説明、第2部のステージでは「SCハワイアンズ」、「フルートクラブ・ジークレフ」、「KSC手話ソング同好会」のグループによるパフォーマンスを披露しました。第3部では「学習支援・学校園ボランティア活動」、「戦争の語り部」、「KOBELしあわせの村ユニバーサルカレッジ」を紹介しました。学生からは「ボランティア活動の熱心さが伝わってきました」、「趣味の活動や身近なボランティア活動がたくさんあることを再認識しました」などの感想をいただきました。



「戦争の語り部」グループわ の活動

この活動は1945年6月5日の神戸大空襲で実際に体験した戦争の恐ろしさ、悲惨さを子どもたちに伝え平和の大切さを学んでもらおうと約18年前から続けています。

7月21日テレビ東京の「秒でNEWS180」で取材を受けました。



西阪順三さん(生環8期)は神戸大空襲、焼夷弾による焼け出され家族との死

別のお話を、米倉澄子さん(一般会員)は疎開生活と戦後の貧窮生活のお話をされました。また、7月24日には読売テレビ「ウェークアップ」から加西市 鷺野町に残っている防空壕で西阪さんが取材を受けました。

<読売テレビ放送は8月

13日、テレビ東京(テレビ大阪)放送は8月15日でした。>



中崎 朋子先生のジョイフルクッキング

秋鮭のホイル焼き



《材料》4人分

生秋鮭	4切れ
エリンギ(大)	1本
えのき茸	1袋(小)
玉ねぎ	1/2個
赤パプリカ	1/4個
刻みネギ	2本分
くし切りレモン	4個
アルミホイル(30cm)	4枚

《調味料》

塩	小さじ1
酒	大さじ1
黒こしょう	少々
味噌	大さじ2
マヨネーズ	大さじ2
みりん	小さじ2

《作り方》

- 1) 鮭に塩・酒を振っておく。
- 2) エリンギは縦に4～6等分に切る。えのき茸は石づきを切り落とす。玉ねぎは5mmぐらいにスライスする。
パプリカは細切りにする。
- 3) Aを合わせて<味噌マヨソース>を作る。
- 4) ホイルにサラダ油を薄く塗り、玉ねぎをのせ、皮目を下に鮭を置き、Aを塗りエリンギ・えのき茸・パプリカをのせ、黒こしょうを振りホイルを閉じる。
- 5) フライパンに4)を並べ、約1cmの水を入れて蓋をして中火で4分、弱火で6分くらい蒸し焼きにする。
(必ずホイルの口を開けて火通りを確認)
- 6) 刻みネギを散らして、レモンを添える。

《先生のコメント》

きのこは、他にも椎茸、舞茸、しめじなど火も通りやすいので、好みのものに置き換えて作ってみてください。

(食文28期 西浦 哲雄)

《俳句クラブ》

兼題・雑詠 四季の俳句

職員室一灯ともる夏休み	谷口 裕
坪庭の雨音となる竹落葉	戸田 文章
年金の少しの贅よ鰻重	佐野 喜代美
ゆかた着や鎮守の森へ走る吾子	山田 浩子
運河沿い歩む黄昏灯涼し	貞苅 茂
優曇華や父の余命を知らせたり	千足 恵美子
潜りても浮きても勤し鵜飼かな	村尾 泰民
ひよこらの行き先思ふ夜店かな	寺尾 隆志
日暮れまで青田を渡る雲と居る	中井 芳樹
故郷帰り程良くぬるい缶麦酒	大高 松男

《川柳くらぶ》

題「わくわく」



心臓をいたわりながらわくわく	吉田 謙
わくわくもかつて日常今いずこ	吉田 謙
わくわくは川柳できたその後で	名定 博
わくわくはスジモンヒトリ今年なし (茶色毛虫)	名定 博
あみ笠に色香わくわく見え隠れ	千足 千
自由句	
七回の試練に耐えた自分褒め	吉田 謙
国葬も家族葬でも棺一つ	吉田 謙
文部相カルトに学費をご納入	名定 博
核兵器脅しのドスよ露米とも	名定 博
未来地図描けぬ惨めな貯金額	千足 千

《応募作品》

短歌

八月はスーも夏休み

されど二階はクラブで活気

孫の来て金も力も減りしかど

学園祭へとエナジーチャージ

天日干し天気は晴れて順調に

あとは素焼きと本焼きのあり

寺尾 隆志(美工28期)

川柳

棄権して政権批判酒のあて

警報発令いまもうバスに乗ってます

寺尾 隆志(美工28期)

俳句・川柳募集中!

投稿はこちらから



シニアルネサンス研究会設立について ～「シニアが輝く人生本番第二幕」～ 国際 28 期 岸本 修治

国際交流・協力コースの楠本利夫先生が、本校学生、いなみ野学園学生らと、「シニアルネサンス研究会」を設立され、神戸新聞(5月13日)、朝日新聞(5月27日：神戸・阪神版)などで大きく紹介されました。



以下先生ご提供の資料によると、研究会の目的は「シニア活躍社会の実現」で、「シニアが人生第二幕を楽しみ、超長寿社会を幸福社会にする方策の研究と実践」です。日本では、超長寿社会の負の側面だけに注目し、超長寿社会を悲観的に見る人が多いのですが、長寿は、本来、社会にも個人にも恩恵をもたらすものです。長寿の恩恵を最大にするには、社会にもシニア自身にも変革が必要です。

①社会と行政に求められることは、シニア活躍社会への環境整備、国民啓発(シニアへの誤解・偏見などの払拭)と、超長寿社会へのパラダイムシフト(発想・制度の劇的転換)です。②シニア自身も、「シニアオブリージュ」(シニアとしての矜持(きょうじ)と品格)を持ち、積極的に社会参加(学び、就業、社会貢献など)して、「人生第二幕」を楽しみ輝くことが必要です。

例会では、「シニアに関する研究」と「シニアによる研究」発表など、交流パーティを予定しています。「シニアによる研究」発表では、本校卒業生が、グループ学習の成果を広く市民に披露(90分)する機会にもなります。

皆さまのご参加を歓迎します。

研究会連絡先：事務局長 古川 清 氏
senior_renaissance_society@yahoo.co.jp

木工グループ夏休み工作教室

木工グループ代表 生環 28 期 芳田 寛

木工グループは夏休み恒例の、広陵中学の「夏休み工作教室」を7月28日、29日の二日間に渡り行いました。この工作教室は毎年恒例で、一昨年、昨年とコロナ禍の中でも実施され、例年広陵中学の生徒70人以上の参加があり、3種類の工作物を製作します。一つ目は、2段式踏み台、二つ目はマガジンラック、三つ目はキャスター付きテーブル。当日の工作教室では、ほぼ、組み立て作業となるので、事前の下ごしらえ(加工)が大変な作業となります。木工室で、毎日4～5名の木工部員が一週間ぐらい掛けて加工作業をします。毎年メンバーが変わるので、四苦八苦！それでも何とか加工を終え、OBの参加協力もお願いし、地域のボランティアの人達、PTAの方達で、生徒達のお世話をしました。



教室は、ノコギリを初めて使う生徒、ドリル、ジグソーなど電動工具も初めて使う生徒、そんな生徒たちを、けがなく指導していくのが大変です。今年は、生徒78人の参加で、2日間は無事終了しました。

生徒たちは出来上がった作品を持ち帰り、さらに研磨したり、塗装を施したりして、夏休みの工作とします。この様な活動を毎年夏休みに行っています。

絵画・陶芸ボランティアグループ合同作品展開催

絵画ボランティアグループ代表 美工 28 期 山本 昌昭

7月5日～10日まで、新長田合同庁舎の展示ギャラリーにて絵画と陶芸ボランティアグループによる合同展示会を開催しました。人物画、風景画など45点の絵画と小皿・茶碗など46点の陶芸品を展示し、262人の方にご来場いただきました。同2グループは3回/月ほどの例会で楽しみながら練習を積み重ねて、感性や創造力を磨いています。成果発表の場として村外でのギャラリー展を夏と冬に2回開催し、多くの来場者に観ていただくことが、上達するうえで大きな刺激や励みになります。今後もグループ一同地道な練習を重ねて、より良い作品を作ることで大きな喜びを得たいと思います。



ふれあいホールに今年も「七夕飾り」

こども文化副代表 生環 28 期 柳 佐知子

「こども文化」の部員と「むかしあそび研究会」の皆さまの協力をいただき、6月30日から7月9日まで、ふれあいホールに今年も3本の「七夕飾り」を立てました。

折り紙で作ったあみ飾り、ちょうちん、お星さま、花てまり、などを笹に飾り付けホールは賑やかになりました。カレッジの皆さんにお願いした短冊には、「家族や周りの人たちが健康で元気で過ごせますように」「戦争が早く終わりますように」「膝・腰の痛みなどの健康回復」など130余りの願いごとが吊り下げてありました。



カレッジの皆さま、ご協力ありがとうございました。(16 頁に関連写真)

「やさしい日本語講座」開催

国際交流友の会代表 音文 28 期 北村 義雄

当会は神戸に住む外国人を日本語でサポートする活動をしています。

このためには外国人に理解しやすい日本語で伝えるための学習を行っており、この度は Y W C A の日本語教育教師を招き当会会員対象に「やさしい日本語講座」を開催しました。例えば「宿題をちゃんとしてきなさい」では在日期间が短い外国人には伝わりにくいのでそれを分かりやすい言葉に変換するなどの勉強をしましたが、より多くの外国人のサポートをできることを願っています。



掲 示 板

他校の学生による見学のお知らせ

- ・9月13日(火) 9時30分～12時
うれしの学園生涯大学大学院講座 現地学習 10人
学校説明・施設見学 9時30分～10時30分
授業参観 10時30分～12時
- ・10月3日(月)
大正大学地域創生学部地域創生学科3年 1人

- ・10月24日(月) 9時～17時
西神看護専門学校 老年看護学2年 見学 20人
- ・11月10日(木) 13時～17時
明石医療センター附属看護専門学校 老年看護学
高齢者大学2年 見学 18人

事 務 局 だ よ り

- ◆感染防止対策へご協力を
学生の皆さまには、日々感染防止対策にご協力をいただきありがとうございます。
新型コロナウイルス感染症の収束時期は見えませんが、カレッジから感染対策の変更をご案内するまでは、これまで同様に、体調管理、手指衛生、3密の回避(特に食事のとき)、マスクの着用、検温など感染防止対策の励行を引き続きお願いします。
- ◆台風などにおける気象警報発表時の対応
午前8時の時点で神戸市域に気象警報が発表されている場合は休校です(学生便覧該当頁参照)。
なお、休校の際は、当校のホームページの「緊急のお知らせ」に掲載します。(http://kobe-sc.org/) 個別の連絡は行いませんので、テレビやインターネットなど

の気象警報に注意してください。

- ◆駐車場定期券の取り忘れにご注意を
駐車場定期券のご利用に際し、料金所で定期券を機械に挿入したあと取り忘れて定期券を紛失するケースが複数発生しています。すでに制度開始後2年近くなりますが、まだ減ってはおりませんので、ご利用時には十分ご注意ください。なお定期券の再発行には千円が必要です。
- ◆学生募集への協力について
この数年は、コロナ禍で学生数が減少しています。学生数は、カレッジの活気にも直結します。学生の皆さまにおかれましては、来年度入学生の増加に向けて、口コミによる勧誘や案内など学生募集への協力をお願いいたします。

図 書 室 だ よ り

暑い夏休みも終え、いよいよ2学期が始まりました。
朝夕過ごしやすい時期に入り、読書は心身ともにリラックス効果抜群です。学園祭を控え、皆さまそれぞれにお忙しい毎日を過ごされていることと思いますが、こんな時にこそ読書をお勧めいたします。

また、購入ご希望の書籍がございましたら、図書室備え付けの購入申請書にて、遠慮なくお申込みください。

<新 着 図 書>

「70歳からの老けない生き方」

著者 和田 秀樹 出版社 星雲社

十進分類法による内容表記(159)・・・人生観 教訓

「無農薬でつくりたい! はじめてのプランター菜園」

著者 古藤 俊二 出版社 合同出版

十進分類法による内容表記(626)・・・蔬菜園芸(そさいえんげい)

蔬菜: 中国語で、野菜、青物の意

「あめつちのうた」

著者 朝倉 宏景 出版社 講談社

十進分類法による内容表記(913)・・・小説 物語

「100万回のありがとう 自転車に夢のせて」

著者 坂本 達 出版社 三起商行

十進分類法による内容表記(290)・・・地理、地誌、紀行

編 集 後 記

9月号は、「学園祭に向けて」をメインテーマに、新規に「校外学習」を企画しました。

「学園祭に向けて」は、各委員会からご寄稿をいただきました。学園祭開催準備に、多くの方々のご努力の様子が少しでもわかっていただければ幸いです。

情報誌編集委員会では、記事の企画や取材、編集作業やチェック、印刷や製本を皆で手分けして自主活発に行っております。皆さまのクラスでの話題や、サークル活動、地域ボランティア活動の様子やアピールポイントなどございましたら、ぜひご

寄稿ください。(※ご寄稿は、表紙下段をご参照願います)

兵庫県でも新規コロナ感染者数が増え続け第7波が到来し、7月20日過ぎから1万人前後を数える状況になってきました。

9月号を配布するころには、「新規コロナ感染者数が減り、楽しく学園祭を行なえたら」と願っております。

★表紙絵画のタイトル「爽籟(そうらい)」は“爽やかな秋風の響き”を言います。

校外学習 & 第 27 回学園祭に向けての各種委員会風景



園芸 27 期 森林植物園



健康 28 期 ハーブ園



生環 28 期 森林植物園



国際 28 期 旧居留地



ふれあいホールの七夕飾り
(14 頁参照)



生環 28 期 神戸市東水環境センター



総務委員会支援者会議



総務委員会分科会



ステージ委員会分科会